

ごみ減量及びリサイクル推進について（令和7年度実施状況）

1 目的

目黒区一般廃棄物処理基本計画では、「快適で誇りのもてる循環型のまち」の実現を基本理念に掲げており、これを踏まえて、基本方針として、①区民・事業者との連携推進、②2Rの推進とリサイクル、③適正処理の推進を定めている。

区では、ごみ減量及びリサイクル率向上のために、1人1日100gのごみ減量を目指す「MG R100（めぐろ・ごみ・リデュース100g）」や「めぐろ買い物ルール」の推進をはじめ、使い捨てプラスチックごみの削減、資源とごみの適正な分別排出など、様々な取組を推進している。

2 実施内容

(1) 「めぐろ買い物ルール」の推進

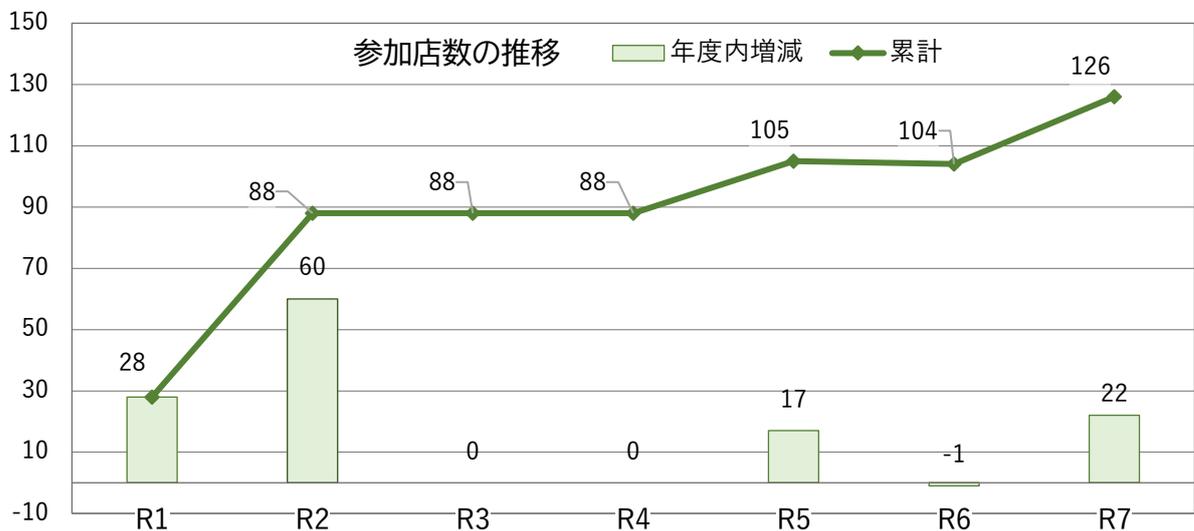
「めぐろ買い物ルール」は、ごみをつくり出さない賢い買い物を広めるための区民・事業者共通のルールであり、①『マイバッグ+マイ○○のすすめ』、②『必要な分だけ買おう!』、③『エコな商品を選ぼう!』、④『おいしく食べきろう!』、⑤『みんなで「長く」「繰り返し」使おう!』の5つのルールを定めている。

区ウェブサイトに参加店の取組を紹介するほか、ステッカーの掲出、イベントでの買い物ルール周知などの普及啓発に取り組んでいる。

参加店数については、コロナ禍の影響もあり一時期横ばいの期間が続いたが、長期的には増加傾向となっており、令和7年12月末時点で125店舗が参加している。

■参加店数の推移（12月末時点）

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
新規登録	28	60	0	0	19	1	25
廃止	0	0	0	0	2	2	4
増減	28	60	0	0	17	-1	21
参加店	28	88	88	88	105	104	125



■SDGsトレインへの広告掲出

- ・東急電鉄の運行するSDGsトレインの車内広告に、「めぐろ買い物ルール」、「目黒区エコテイクアウト」に関する広告を掲出し、周知啓発を行った。
- ・掲出期間：令和7年7月14日～10月12日



(2) 「MGR100」や3R推進等に関する普及啓発

区民生活と密接不可分の関係にある、ごみ減量や3R推進等の取組については、年齢、家族構成、国籍、住居形態、居住年数などの多様な区民を対象として、効果的・効率的な情報発信を図っていく必要がある。

紙媒体や電子媒体などの各媒体の特性を活かしながら、相互に補完し合い、相乗効果を生むよう、複数の媒体を組み合わせ、様々な情報発信及び普及啓発を行っている。

■3Rの推進に関する普及啓発の例

- ・冬場に使用率が高まる、使い捨てカイロについて、排出方法をタイムリーに周知した。
- ・「カイロ本体」だけでなく、「プラスチック製の外袋」、「貼るカイロの台紙」、「未使用カイロ」の排出方法もご案内している。
- ・区報の記事にQRコードを付しており、WEB版にアクセスできる。
- ・WEB版では、エシカル消費や3Rの観点も踏まえ、①繰り返し温めて使える「リウォームカイロ」(SDGs製品)の紹介、②使用後のカイロを除湿剤・脱臭剤として活用できる旨のエコ情報の紹介、③使い捨てカイロを回収し、水質浄化剤や土壌改良剤へのリサイクルを行う団体の紹介など、より詳しい情報を提供している。

(3) 広報紙の作成

分別排出の適正化やごみ減量に関する普及啓発を目的に発行している、区民向けパンフレット「資源とごみの分け方・出し方」(日本語、英語、中国語、ハングル)、子ども向けパンフレット「へんし〜ん!!ペットボトルのリサイクル」、「はじめよう!ひとりひとりができること」、事業者向けリーフレット「事業者が排出する資源・ごみは自己処理が原則です」(日本語、英語、(※中国語、ハングルは電子提供))について、令和8年度版の改定作業を進めている。

■リチウムイオン電池に関する注意喚起

- ・リチウムイオン電池に起因する発火事故等がメディアでも繰り返し取り上げられ、区民の重大な関心事となっていることを受けて、今般、広報紙の記事見直しを行っている。
- ・区内10か所に設置した回収ボックス、区内の電器店・販売店等、日本たばこ協会による加熱式たばこの回収など、回収方法に関する情報だけでなく、発火事故に関する注意喚起や、リチウムイオン電池が膨張・破損した際の相談先などの情報も併せて周知していくことで、引き続き、区民が安心できる、安全な清掃リサイクル行政を推進していく。



(4) プラスチックごみ削減

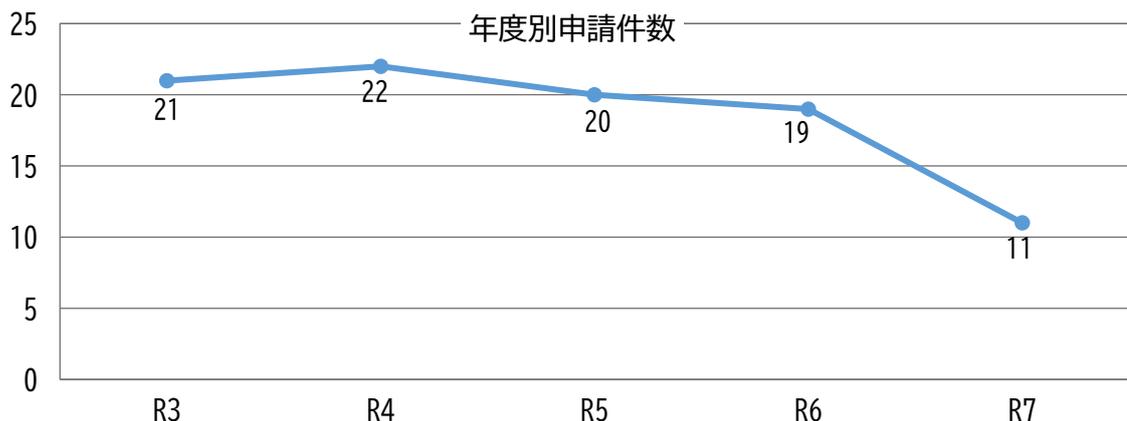
ア エコテイクアウト推進補助金

食品のテイクアウト等において、使い捨てプラスチック容器包装に代わるものとしてエコ容器包装やリユース容器を使用する事業者を支援するために、エコテイクアウト補助事業を行っている。

区内飲食店等では、コロナ禍における生活様式の変化により一時的にテイクアウトが増加し、一定期間その影響が残存したため相当程度申請がみられたが、今般、申請件数が減少基調にある。

■申請件数の推移(令和7年12月末時点)

年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
申請件数	21	22	20	19	11



イ マイボトル対応型給水機の設置

使い捨てプラスチックの削減を図ることを目的として、総合庁舎にマイボトル対応型給水機を試行設置した。給水機の設置は、公民連携の手法によるものとし、令和7年12月、ウォータースタンド株式会社と「プラスチックごみ削減の推進に関する協定」を締結した。

■マイボトル対応型給水機の利用について

- ・ 設置場所：総合庁舎1～3階
※各フロアの冷水器付近に設置
- ・ マイボトルを持参すれば、誰でも無料で、給水機を利用できる。
- ・ 来庁者等にわかりやすいサイン表示を掲出し、利用を促している。



(4) 環境学習・出前講座等の実施

- 子どもたちが資源・ごみの適正排出やごみ減量について関心を持ち、日々の生活で実践していくことを目的として、区内の保育園・幼稚園・小学校へ出張し、スケルトン清掃車やパネル、紙芝居、着ぐるみ、啓発資材等を活用しながら体験型環境学習等を行っている。
- 「エコまつり・めぐろ」において、子どもや子育て世帯、高齢者など幅広い層を対象とした普及啓発活動を行った。今年度は、①「てまえどり」による食品ロス削減、②資源であるプラスチックの分別排出、③プラスチックの再資源化、④最終処分場の延命化の必要性、⑤ごみ減量のために今日から取り組める行動として「めぐろ買い物ルール」の周知をテーマに、平易かつ気軽にごみ減量等を学べるクイズを実施した。
- 区立五本木小学校と連携し、4年生の社会科の授業にて、「MGR100」に関する講義を実施した。

以 上